

にしのみしま「ふるさと教育」ウィークリー
～「ふるさと教育」の取組を公民館から地域へ発信！！～

西ノ島町立中央公民館

1 西ノ島町立中央公民館の概要

島根半島の北東約 65km に位置する西ノ島町は、昭和 40 年代から 60 年代にかけて漁業・畜産の町として発展してきた。しかし、昭和 25 年には 7,500 人いた人口が 3,200 人まで急激に減少した。高齢化率は 38% までに達している。町内には 15 の地区があるが、端々の集落では商店のなくなった地区もあり、大変不便な生活を強いられている。

西ノ島町立中央公民館の建物は、複合施設の 2 階（1 階は観光交流センター）にあり、ホール、会議室、和室、図書室を備えている。所在する浦郷地区を中心とした住民の文化及び交流の拠点施設であり、多様な学習活動や学習機会、交流の場や学習成果発表の場の提供に努めている。しかし、周辺部の交通手段の少ない高齢者などは公民館を頻繁に訪れることが困難なことも多く、事業を行う上で課題となっている。

2 事業の概要

(1) 事業のねらい

学校の「ふるさと教育」の取組を公民館事業と関連性を持たせたり、連動させたりして実施することで、より地域を愛し、ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもを育む。

さらに、子どもたちに伝えたい地域のよさや体験させたいこと、考えてもらいたい地域課題などをテーマや題材として事業を実施したり、学校へ提案したりすることで、より地域の実情に応じたふるさと教育を推進する。

(2) 具体的な取組

ア 西ノ島中学校ふるさと演劇発表会・西ノ島小学校学習発表会への支援として小中学校の発表に係る資材搬入や音響・照明機器利用の支援を行っている

イ 西ノ島中学校ふるさと演劇発表会及び西ノ島小学校学習発表会に合わせ、毎年小中学校のふるさと教育に関する展示をすることによって、「ふるさと教育」の町民への周知を図る。

展示の内容としては、児童・生徒の学習活動、学校支援ボランティアの活動及び公民館事業についての展示のほか、児童生徒の絵画、習字、技術科作品、写真等計 300 点を展示した。また、平成 23～25 年度に採択された「実証！『地域力』醸成プログラム」における本公民館の取組が紹介された DVD を放映した。

ウ 展示作品については、特別なものではなく年間計画に基づいて行われている児童生徒の学習活動の成果物を提供していただいた。また、作品の搬入・展示の作業についてもすべて公民館スタッフで行い、小中学校の発表会がより充実したものになるよう配慮した。

エ 日程



期日・期限	主体	内容	備考
11/20(木)夕方	小中学校	作品及び作品一覧表準備	
11/20(木)夕方	中央公民館 (社会教育係)	作品及び作品一覧表受取・搬入	
11/21(金)全日		作品展示作業	
11/22(土) ～ 12/1(月)		展示（公開）	11/22(土) 中学校演劇発表会 11/30(日) 小学校学習発表会
12/2(火)		作品撤収・返却	

3 事業の成果と課題

(1) 成果

来場者数のべ 500 名、町民のおよそ 2 割の方々が来場。学校行事と公民館事業を一体として行うことで、学校の「ふるさと教育」の取組を公民館事業と関連性を持たせることができ、町民の方が公民館に足を運び「ふるさと教育」に触れるきっかけづくりにつながった。



地域の方からは、「公民館、がんばってますね！」という言葉や、小中学校の教職員から、「賑わいがあっていいですね！」という言葉をいただいた。

(2) 課題

この事業自体は公民館職員で準備、運営しており、今後さらに社会教育関係団体や地域のボランティアの方々を巻き込んで進めていくことが課題となっている。

4 今後の取組等

今後は町民ボランティアの活用や、公民館事業の成果発表などを併せて行うことで、学校と公民館の取組をより連動させて実施していく。また、この「ふるさと教育」ウィークリーを盛り上げていくことで、学校と地域をつなげ、「ふるさと教育」のさらなる推進を図っていきたい。

